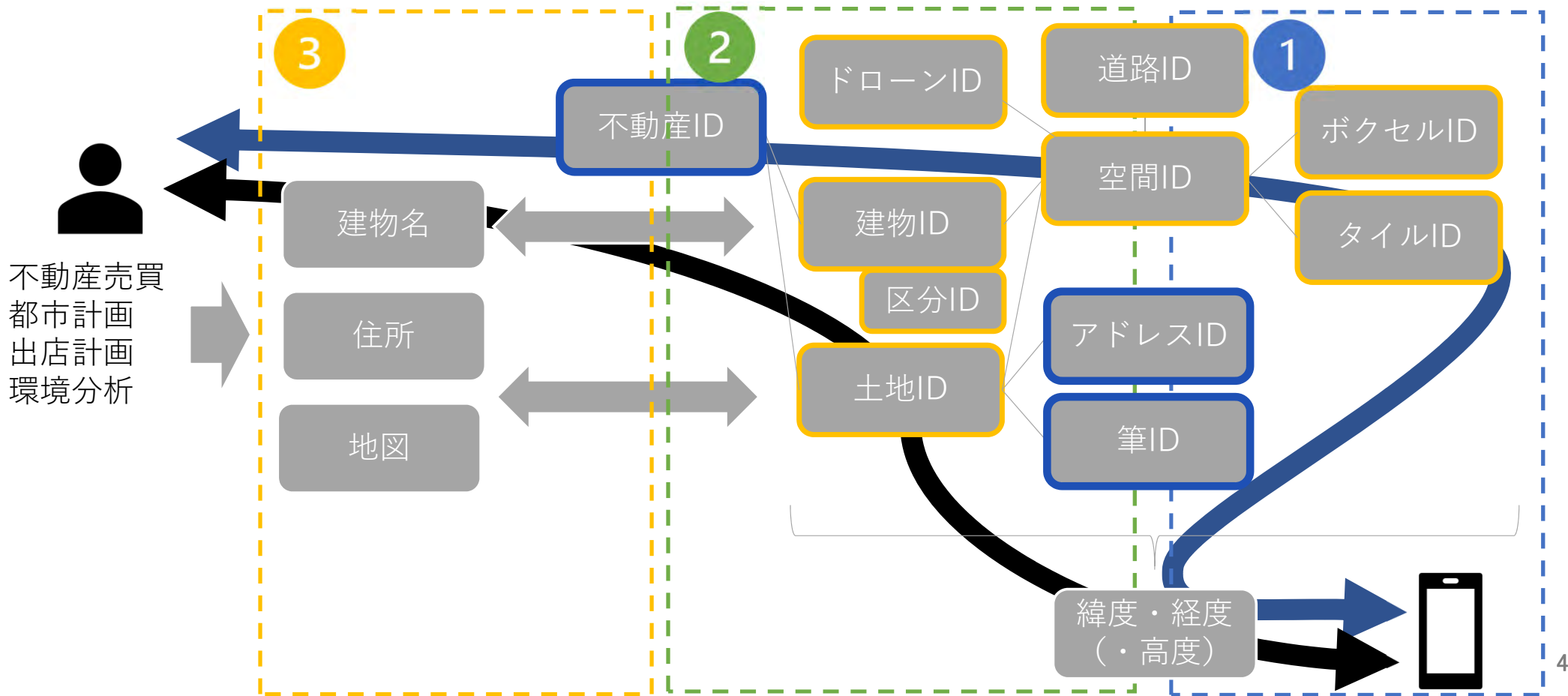


データ連携イメージ

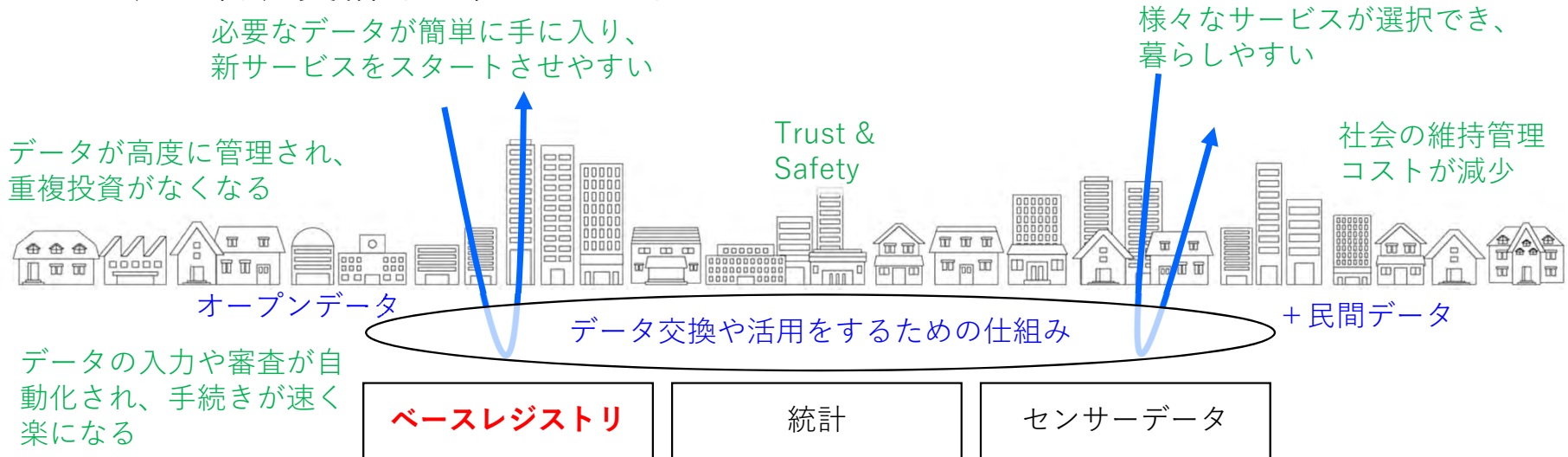
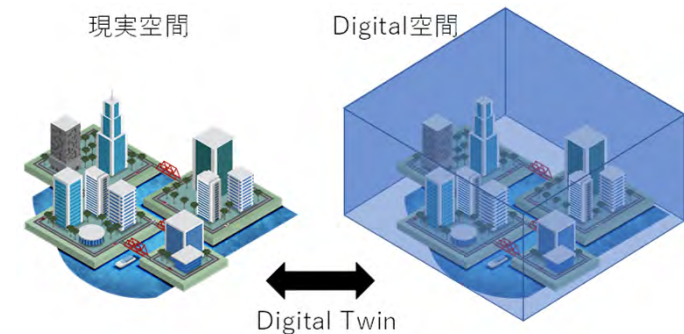
- 位置情報を表す空間IDをキーにID連携により各情報にアクセスできる。変更も履歴で管理できる。



目指している姿とベースレジストリの位置付け

【目指す姿】
誰でもデータをストレスなく活用でき、
データが暮らしをサポートしてくれる社会

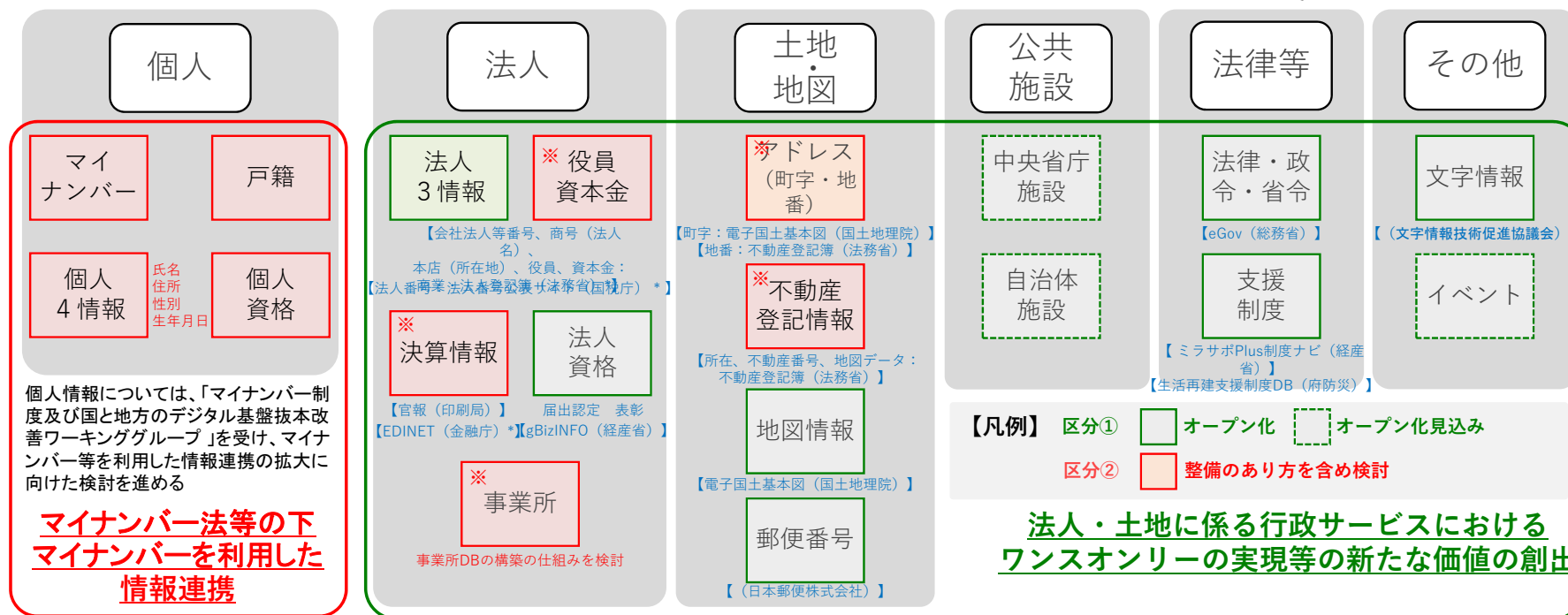
【ベースレジストリとは】
公的機関等で登録・公開され、様々な場面で参照され、正確性や最新性が担保された人、法人、土地、建物、資格等の社会の基本データ



ベース・レジストリの指定

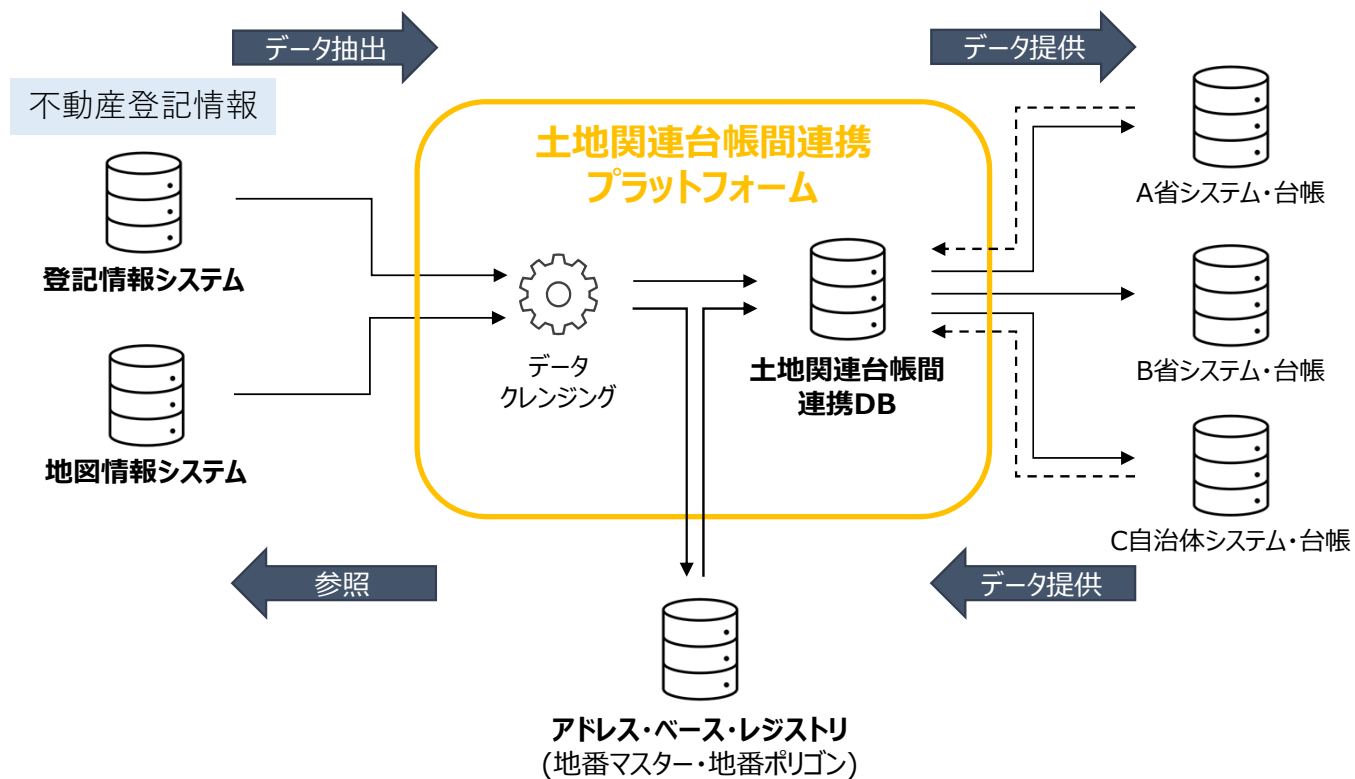
- 重点データを国と自治体が協力して整備。
 - 区分①：即効性の観点から、早期にベース・レジストリとしての利活用を実現するものとして指定するデータ
 - 区分②：今後ベース・レジストリとして整備のあり方を含め検討するものとして指定するデータ

灰色はデータ戦略タスクフォース第一次とりまとめベース・レジストリロードマップの区分



※具体的なデータの活用・整備方法等について要調整 *既にgBizINFOと連携済みでありgBizINFOの活用も検討中

土地関連台帳間のデータ循環（目指す姿）



不動産登記情報のベース・レジストリ指定

- 土地・地図分野のベース・レジストリとして、不動産登記情報における不動産番号・地図データを指定している。

台帳間連携PF構築により解決したい課題

- 不動産登記情報を活用したい行政機関が個別に法務省/登記所とデータ提供に関する調整を行っている。
- データの抽出に費用・労力と時間がかかっている。
- 不動産登記情報の提供先で、登記の情報と現況情報の差異を把握しているケースがあるが、法務省/登記所がそれを把握し、登記に反映することが困難。

デジタル庁で調査・PoCを実施中